



赤ちゃんから学んだこと。

「赤ちゃん登校日」って何

「赤ちゃん登校日」とは、まだ話すこともできない赤ちゃんに、その親と一緒に学校へ「登校」してもらい、子どもたちが赤ちゃんといふれあう中で人との関わり方を学んでいく体験型学習のこと。鳥取大学医学部の高塚准教授(以後「高塚さん」)が考案した学習プログラム。単なる育児体験ではなく、抱っこやおむつ替えといった安全・衛生面から「見る・聴く・伝える」などの「コミュニケーション」の基礎までを事前に学習してから赤ちゃんを迎える。

今回高階小学校では、4～5年生14名が1カ月に1度のペースで計2回の体験学習を行った。2回とも同じ赤ちゃんをペアになり、継続した交流ができるよう配慮された。

初めての出会い。 そしてその後…

10月2日。児童たちは10組の赤ちゃんとそのお母さんに初めて会った。進行役の高塚さんが「赤ちゃんの表情をよく見てごらん。赤ちゃんが

何を思っているか感じて、「ごらん」と声をかける。「手をギュッと握ったら痛くないかなあ」「抱っこしたら嫌がって泣かないかなあ」と、はじめは慣れない手つきで緊張しながら赤ちゃんに触れる児童たち。時間が経つにつれて、赤ちゃんのお母さんとの会話もはずみ、児童たちに笑顔も見られるようになった。

それから約1カ月後の11月9日。2回目の赤ちゃんとの交流学習の日を迎えた。「たった1カ月しか経っていないのにすごく重くなった」と驚く児童たち。そんな赤ちゃんの成長の早さを感じる児童たちもまた同じように成長していた。前回は恐る恐る抱っこしていたのに、自分から積極的に赤ちゃんに関わろうとする姿があった。その表情は自然な笑顔にあふれ、赤ちゃんとの限られた時間を楽しみたいという気持ちが表示れていた。

そばで見守る赤ちゃんのお母さんの表情もまた満足げな笑顔にあふれていた。「児童たちがわが子とふれあい、自分の子育ての話を素直に耳を傾けてくれる。自分と自分の赤ちゃんが児童たちの役に立って



2



3



4



1

1_赤ちゃんを抱っこして重みを体験 2_体験はお母さんから赤ちゃんの話をよく聞いてから 3_絵本の読み聞かせでは赤ちゃんも興味津々 4_登校した赤ちゃんを見ようと他の学年からも授業を見学に

いることを実感することで勇気づけられ、子育てに自信が持てるようになる」と高塚さん。

なぜ赤ちゃん？

そもそもなぜ赤ちゃんなのか？「赤ちゃんはしゃべれないからです。言葉を話せない赤ちゃんともコミュニケーションをとるには、自分から積極的に表情を読みとり、言葉をかけ、心を開いていくしかない。それが人間関係の基本。コミュニケーション力を養うには赤ちゃんが一番」と高塚さんは言い切る。

赤ちゃんの世話をし、お母さんから赤ちゃんへの想いや子育ての苦労話を聞くことによって、自分が赤ちゃんだった頃のことを想像する。自分がいかに愛されて大きくなったか、たった一つの命をどれだけの人が支えてくれたかということに気づく。親の苦労に感謝し、他人を思いやる気持ちが生まれれば、自然と自分を大切にする気持ちも芽生えてくる。それを気付かせてくれる魔法のような存在が赤ちゃんなのだ。

「見る」「聴く」「伝える」

人の話が聞けない、人との接し方がわからない…。コミュニケーション力の低下は、子どもたちに限った

話ではない。核家族化や近所づきあいの希薄化に伴い、相手の気持ちを感ずることができない大人も増えているといわれる。本来親から子へ、子から孫へと受け継がれるべき大切なものが欠けつつある今の時代だからこそ、赤ちゃんの力を借りて人間関係をもう一度見直そうというのが「赤ちゃん登校日」の狙い。もちろん「赤ちゃん登校日」がすべての人間関係をうまくいかせるための「魔法のつえ」ではない。それでも、この取り組みを通して、「見る・聴く・伝える」という人間関係の基礎をもう一度考えるきっかけにはなるのではないか。

人間関係

子どもたちから教えられた



高階小学校4・5年生担任
板谷 和豊さん

子どもたちが普段学校では見せたことがない純粋な表情で赤ちゃんに向き合い、やさしい言葉で話しかける姿を見て、驚きと同時に反省の気持ちがありました。自分が普段子どもたちにかけていた言葉は「強い口調ではなかったかな」「厳しくしかりつけるだけの言葉ではなかったかな」「ほめる言葉が足りなかったのではないかな」と思い返しました。

子どもたちが自然な表情で安心して過ごせ、自分たちの言葉に自信が持てるように、これからやっていかなければならないと改めて感じました。

赤ちゃん登校日授業を受けたからといって、すぐに目に見えるような効果が生まれるわけではありません。でも、今回経験したことは子どもたちの心に残り、将来必ず役に立つと思います。



5_「いない、いない、ばあ」に赤ちゃんもニコリ 6_玄関まで荷物を持って見送り「また会おうね」 7_赤ちゃんに向き合うとみんな笑顔に